

ポートタワーに映像投影

来月14日から23年春まで

名前【 】

- ①大規模改修中の神戸ポートタワーで1月14日から、工事用の足場を覆うシートに繰り広げられるのは何ですか。

- ②ポートタワーの別名は何といいますか。

- ③神戸市と神戸ウォーターフロント開発機構による何というプロジェクトの一環ですか。

- ④このプロジェクトの第1弾のテーマは何で、どんな映像が映し出されますか。

テーマ

映像

- ⑤映し出される映像の案やイベントを提案してみよう。

大規模改修中、工事用シート彩る



神戸ポートタワーを覆うプロジェクションマッピングのイメージ画像。神戸市民の花のアジサイで華やかに彩られる(いずれも提供)

市民参加催しも



30分おき 6分間

水中でコイが優雅に泳ぐ幻想的な映像



らせん状の通路に人々が歩くにぎやかな一場面も

午後7～10時に

大規模改修中の神戸ポートタワー（神戸市中央区波止場町）で来月1月14日から、工事用の足場を覆うシートに映像を投影するプロジェクションマッピングが繰り広げられる。2023年春まで1年以上にわたり、原則毎日午後7～10時、30分おきに約6分間の映像が表れる。おなじみの赤い曲線や格子が見られない間、ひと味異なる「鉄塔の美女」が訪れた人らを楽しませる。（井川朋宏）

神戸市と神戸ウォーターフロント開発機構による「神戸ウォーターフロントアートプロジェクト」の一環。同タワーは耐震化対策などで改修するため、今年9月下旬から休業している。この期間を活用し、シートに映像を流す取り組みを企画した。第1弾のテーマは「One and only（ワン・アンド・オンリー）」。神戸市民の花のアジサイや港、町並み、コイが泳ぐ様子などを題材とした映像が投影される。

映し出される範囲は工事用足場の設置状況によって異なる。高さは1月中は約40m、2月からは最大で約80mに広がる予定。

今後、海外の芸術家らを招いて市民が参加できるイベントなどを検討中という。同プロジェクトの担当者は「建物自体は見えなくても、今しか目にできないアートを楽しんでほしい、ポートタワーへの親しみをもち続けてほしい」とPRしている。